



広々としたグラウンドでの外遊び



ほうない

第6号

村上市立保内小学校
強い力 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋264-2

TEL0254-62-2302

FAX0254-62-5553

短い夏休みを終えて

校長 須貝 学

夏休みが終わり、小学校では二週目となる先週の月曜日から給食が始まり、通常の教育活動に戻りました。まだまだ厳しい残暑の中でしたが、昼休みになると多くの子どもたちが、体育館やグラウンドに出て、夢中で遊んでいる姿が見られます。

グラウンドでは、鬼ごっこ、野球、サッカーをしている子ども、一輪車、竹馬、ブランコやシーソーなどの遊具を使って遊ぶ子どもたちで大賑わいを見えています。

先週の新潟日報に「小中生の運動離れ懸念」という記事が掲載されていました。新型コロナウイルスへの対応によって、小中学生の運動時間が減少し、体力低下につながることを不安視するという内容でした。確かに、運動による密集や接触、用具の共用を避けるために、多くの学校で今夏の水泳授業が中止となりました。体育で実施する種目や運動の仕方も制限されています。

保内小学校でも、水泳は実施できませんでした。学級別に分散して行ったため、例年に比べると回数が少なくなりました。

しかし、子どもたちの休み時間の過ごし方を見ていると、好影響もあつたように感じます。今年、臨時休業が明けてから、保内小学校では、グラウンドで遊ぶ子どもの姿が徐々に多く見られるようになりました。

各学年・学級で、担任が感染予防として、休み時間の過ごし方や遊び方について指導してきました。そして、子どもたち自身も主体的に遊び方を考えて過ごすようになりました。その結果、多くの子どもたちが、広いグラウンドや密集しない場所での遊び方を工夫して過ごすようになってきたのです。

このコロナ禍の困難な状況にあっても、しなやかに対応している子どもたちの姿に感心させられます。まだまだ厳しい暑さが続きますので、熱中症にならないように活動してまいります。